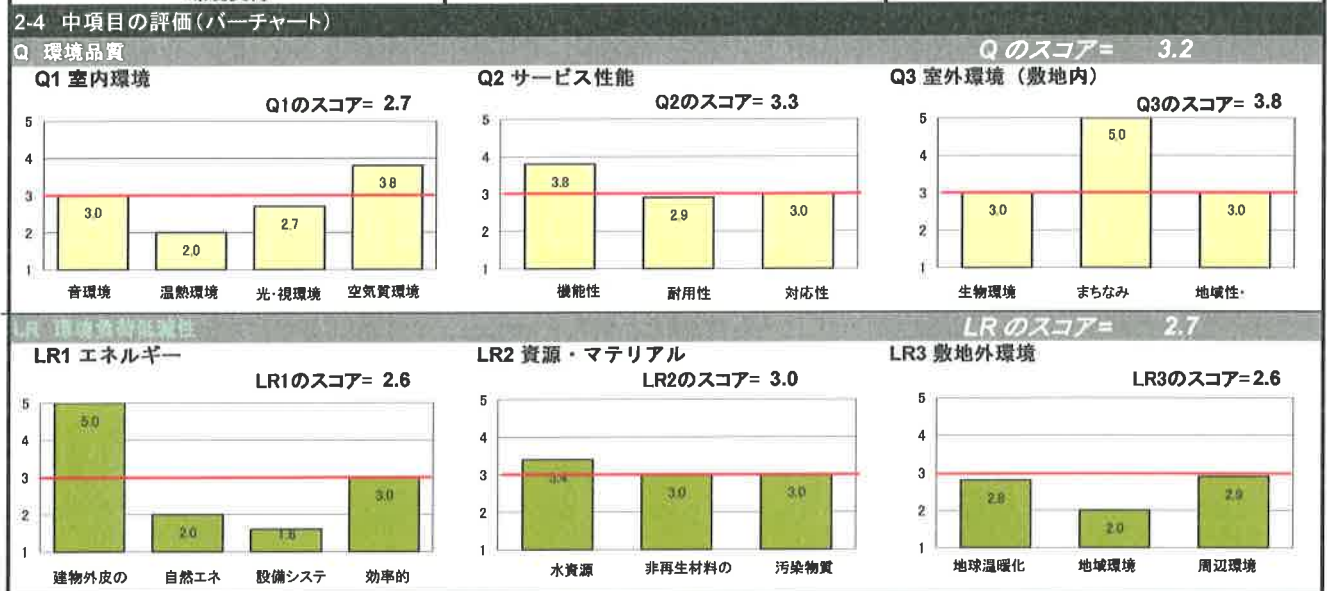
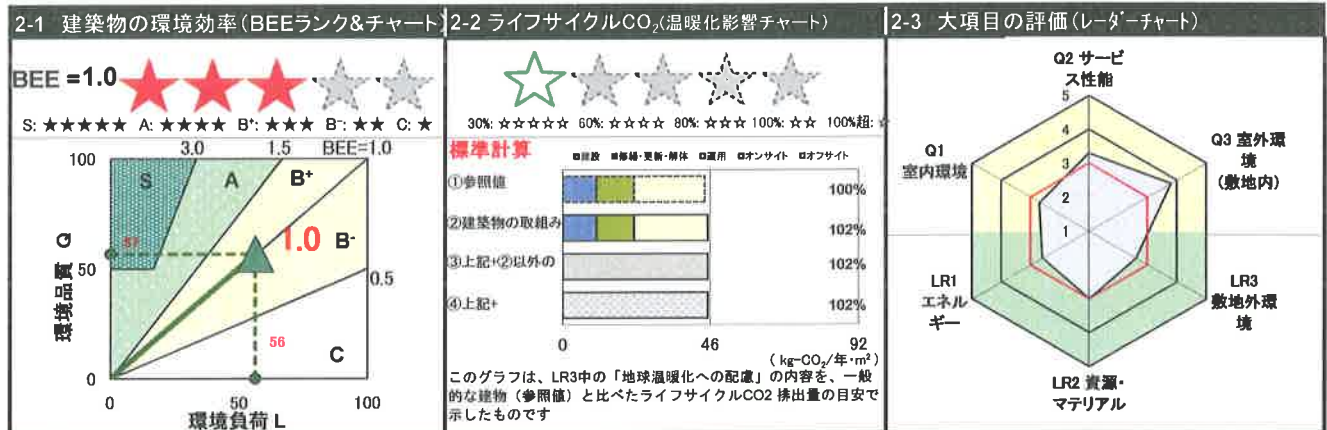


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鳥取市立南中学校管理・特別教室棟	階数	地上4F
建設地	鳥取県鳥取市興南町	構造	S造
用途地域	都市計画区域	平均居住人員	900 人
地域区分	6地域	年間使用時間	230 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2019年5月24日
敷地面積	17,488 m ²	作成者	土居 一頼
建築面積	909 m ²	確認日	2019年5月27日
延床面積	3,445 m ²	確認者	塚田 隆



3 設計上の配慮事項 総合 効率の高い設備機器を採用。また節水型の器具を設置することで、建物全体の省エネルギー化に努めている。			その他 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑えることで地球温暖化の防止に努めている。
Q1 室内環境 各ゾーンごとに空調機の運転を可能にし、快適環境を実現している。	Q2 サービス性能 天井高さを高くすることで、建物利用者にとって広く感じる空間となっている。	Q3 室外環境(敷地内) 地域性・防犯性へ配慮しながらアメニティ向上へ貢献している。	
LR1 エネルギー ヒートポンプエアコンやLED照明器具を採用することにより省エネルギー化に努めている。	LR2 資源・マテリアル 節水コマ付水栓や、節水型便器を採用することにより水資源の節水につとめている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑えることで地球温暖化の防止に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される